

平成 18 年度 秋期 システムアナリスト試験 解答例

午後 試験

問 1

出題趣旨	
<p>グループ企業を中心に、シェアードサービス導入など、間接部門の改革に対する関心は高まりを見せている。その基本は、標準化・事務効率向上であり、グループ内の混乱を回避すべく段階的に進められるケースが多い。本問では、この間接部門改革という状況の下で、システムアナリストに期待されている技術水準について評価する。具体的には、的確なシステム化計画を策定し遂行していくために必要な、経営課題からシステムによる支援要素を抽出し、システム要件を整理する実践能力を問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連法令で業務が規定されており、業務の差異が小さい。</li> <li>・ 間接部門だけで標準化を検討できる範囲が狭くない。</li> </ul>	
設問 2	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社員や組織などのコード体系の統一</li> <li>・ 人事データ項目・内容の標準化</li> </ul>	
	(2)	人事・給与情報の連携による二重入力削減	
設問 3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事諸届の種類・書式の統一</li> <li>・ 事務処理期日、決裁手順の標準化</li> </ul>	

問 2

出題趣旨	
<p>システムアナリストには、経営戦略に基づく情報戦略の立案や情報システム構想を導く能力が求められている。本問では、システムアナリストに必要な、経営戦略を正しく理解する能力、経営上の課題を把握する能力、課題に対して情報システムによる支援要素を抽出する立案能力などを評価する。具体的には、製造業における直販や輸出に関する重要成功要因の導出、全体最適の視点からの生産計画上の重要成功要因と情報システムの支援要素の導出などを問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外に強い商社を活用して需要家を新規に開拓したいから</li> <li>・ 直販だと輸出に関する業務手続を自社で行う必要があるから</li> </ul>	
	(2)	同一塗装材料を使った製品を続けて生産することで、切替工数を削減できるから	
設問 2	a	鋼板に印字する製品番号や注意書きなどの版に関する情報	
	b	汎用規格の鋼板を使った高機能製品の需要家との共同開発	
設問 3		各工場の生産負荷状況の見込みから、希望納期にこたえられる工場を選択する機能	

### 問 3

出題趣旨		
<p>日本の輸出企業の課題は、海外市場において、有効な物流方式を構築して、顧客に製品や補修部品をタイミングよく供給し、自社の製品へのロイヤリティを高めることである。</p> <p>本問では、現状と将来の物流方式の問題点を分析する能力、物流方式の見直し要件を抽出し、システムに反映する能力があることを評価する。具体的には、有効な物流方式を構築するための在庫管理システムの要件、新しい物流倉庫の設置の効果を確認するためのシミュレーションの内容、有効な在庫計画を立案するために必要な情報の取扱方法などを問う。</p>		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月別販売予測分の製品在庫があること</li> <li>・ 補修部品を欠品させないこと</li> </ul>	
設問 2	K 社	物流費用及び在庫が従来方式と比べて減ること	
	販売代理店	販売代理店が希望する日数内に納入できること	
設問 3	製品	販売代理店の月別販売予測データを、予測精度情報を用いて補正する。	
	補修部品	製品の出荷実績を基に算出した需要予測値を、地域特性情報を用いて補正する。	

### 問 4

出題趣旨		
<p>システムアナリストには、経営戦略に基づく情報戦略の立案やシステム化計画の策定を行う能力が求められている。</p> <p>本問では、小売業が経営戦略として事業買収を行う場面を設定し、業務統合を行い経営目標にあった業務の強化及び標準化と効率向上を推進する上で、課題となる業務要件、システム要件を定義する能力を評価する。具体的には、精度の高い業務を行うために強化し、改善すべきシステム機能と情報、店舗の商品管理機能向上を図るための業務要件とシステム要件及び店舗業務の効率向上に必要な業務要件などを問う。</p>		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誤納、欠品や破損品にかかわる在庫データの補正</li> <li>・ 返品を受入れに伴う在庫データの調整</li> </ul>	
設問 2	(1)	商品台帳から商品を発注する機能	
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全社及び地区ごとの商品管理情報</li> <li>・ 商品に関連するアドバイス情報</li> </ul>	
設問 3	(1)	地方の取引先の商品の商談と発注を商品部仕入担当による業務とする。	
	(2)	地方の取引先の商品のコードを社内で統一して管理する。	